



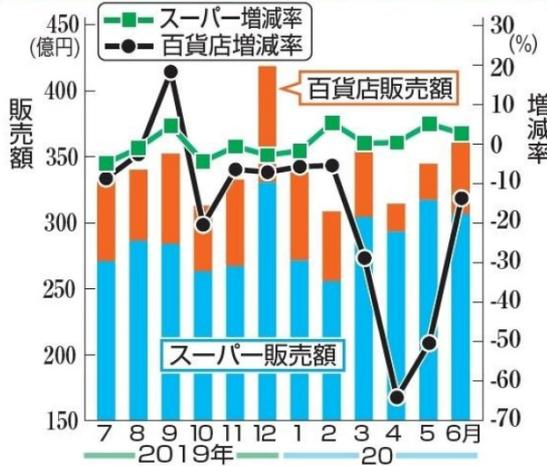
Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

県内百貨店・スーパー販売額と前年同月の比較



解答例

関東経済産業局が19日発表した6月の県内百貨店・スーパー販売額は、既存店ベースで前年同月比0・5%減の360億6100万円

百貨店販売額は13.8%減、スーパーは2.6%増

6月

円だった。百貨店3店の販売額は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、13・8%減の54億円。5割以上落ち込んだ4、5月に比べて縮小した。

政府の緊急事態宣言に伴う臨時休業から営業を再開したものの、消費者の外出自粛傾向は続き、主力の衣料品は14・6%減の19億100万円と落ち込んだ。化粧品、宝飾品などのその他の商品は16・7%減の10億4800万円だった。

スーパー(151店)の販売額は「巣ごもり需要」が堅調で、2・6%増の306億6100万円と5カ月連続で前年を上回った。飲食料品は2・8%増の236億700万円、衛生用品といったその他の商品は3・0%増の33億4900万円と伸びた。

管内1都10県の百貨店・スーパーの合計販売額は既存店ベースで、3・8%減の7468億3700万円。百貨店は17・6%減の2053億1千万円、スーパーは4・2%増の5415億2700万円だった。(経済部・牧野めぐみ)

2020年8月20日朝刊

①見出しの2つの口に、「増」または「減」のどちらかの漢字を書き入れましょう。

②この1年間(2019年7月～2020年6月)で百貨店の販売額が最も落ちこんだのは何月ですか。

( )月

③この1年間(2019年7月～2020年6月)でスーパーの販売額が最も多かったのは何月ですか。落ちこんだのは何月ですか。

( )月

④百貨店において、衣料品や化粧品、宝飾品の販売額が減少した理由を記事から見つけて書きましょう。

[ ]

年 組 名前



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

県内百貨店・スーパー販売額と前年同月の比較



関東経済産業局が19日発表した6月の県内百貨店・スーパー販売額は、既存店ベースで360億6100万円、前年同月比0.5%減

百貨店販売額は13.8%減  
スーパーは2.6%増

6月

円だった。百貨店3店の販売額は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、13.8%減の54億円。5割以上落ち込んだ4、5月に比べて縮小した。

政府の緊急事態宣言に伴う臨時休業から営業を再開したものの、消費者の外出自粛傾向は続き、主力の衣料品は14.6%減の19億100万円と落ち込んだ。化粧品、宝飾品などのその他の商品は16.7%減の10億4800万円だった。

スーパー(151店)の販売額は「巣ごもり需要」が堅調で、2.6%増の306億6100万円と5カ月連続で前年を上回った。飲食料品は2.8%増の236億700万円、衛生用品といった他の商品は3.0%増の33億4900万円と伸びた。

管内1都10県の百貨店・スーパーの合計販売額は既存店ベースで、3.8%減の7468億3700万円。百貨店は17.6%減の2053億1千万円、スーパーは4.2%増の5415億2700万円だった。(経済部・牧野めぐみ)

2020年8月20日朝刊

①見出しの2つの口に、「増」または「減」のどちらかの漢字を書き入れましょう。

②この1年間(2019年7月～2020年6月)で百貨店の販売額が最も落ちこんだのは何月ですか。

( 4 )月

③この1年間(2019年7月～2020年6月)でスーパーの販売額が最も多かったのは何月ですか。落ちこんだのは何月ですか。

( 12 )月

④百貨店において、衣料品や化粧品、宝飾品の販売額が減少した理由を記事から見つけて書きましょう。

(例) 政府の緊急事態宣言から、消費者の外出自粛傾向が続いているため。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/社会、総合)